

児童会・生徒会代表者ミーティングからの報告

資料 5

平成30年9月1日(土)第1回いじめ防止市民フォーラムにて

	テーマ	テーマを選んだ理由	取組内容
加古川中学校区 (加古川中、加古川小、鳩里小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●「楽しいと思える学校」「理解しあえる人間関係」をつくるためには、まず一人ひとりを大切にしていけないといけないと感じたため。 ●最近は、SNS等インターネットで文字だけのつながりが増えてきている。相手の顔が見えないため、相手に気持ちが伝わりにくいことによるトラブルが増えてきているため。	●「相手を大切にしていこう気持ち」 相手を大切にすることを育てていく。 ●「ネット利用のルール」 メッセージを送る前に、もう一度言葉を確認し、スマホ等を使用する時間を決める。
中部中学校区 (中部中、野口小、野口南小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●いじめをなくすためには、良い人間関係が必要であると感じたため。	●「いじめ追放宣言」 現在中学校で行っている「いじめ追放宣言」を基盤にしたいじめをなくす取組を、中学校区内の小学校にも広げていき、活動を共有する。 ●「真心あいさつ運動」 中学校で取り組んでいる相手の目を見て、はっきりとあいさつをする「真心あいさつ運動」を小学校でも行い、中学校区内でいじめを許さない学校づくりを盛り上げていく。
浜の宮中学校区 (浜の宮中、尾上小、浜の宮小、若宮小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●一人ひとりの良いところを見つけ、お互いに理解しあえることで、結果的に一人ひとりを大切にすることにつながり、学校も楽しくなると思ったため。	●「笑顔の花を咲かせよう 4校で満開の木を増やそう」 このスローガンのもと、いじめを許さない学校づくりの取組を進めていく。 具体的には、花の形に切った紙に、読んだ人が嬉しくなるようなできごとを書いて掲示していき、木が満開になるよう、がんばっていく。
両荘中学校区 (両荘中、平荘小、上荘小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●両荘中学校区では、児童・生徒の数が少なくなってきたからこそ、一人ひとりを大切にできる温かい中学校区にしたいと考えたため。	●「小中合同のあいさつ運動」 温かいあいさつができるよう、あいさつの仕方を伝えとともに、たすきなどを使って活動を盛り上げ、中学校区であいさつ日本一を目指す。 ●「西日本豪雨災害の募金」 ●「救われた言葉・嬉しかった言葉集め」 温かい言葉が増えるように、救われた言葉や言われて嬉しかった言葉を集めて掲示する。
平岡中学校区 (平岡中、平岡東小、平岡北小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●友だちの良いところを見つけることで、一人ひとりの個性が認められると考えたため。	●友だちを大切にできるように、ハートの形に切った紙に、友だちの良いところや感謝の気持ちを書き、みんなが見ることのできる場所に掲示していく。 ●友だちの良いところを発表したり、書いたものを見せ合ったりするなど、より活動が充実するように内容を工夫する。
平岡南中学校区 (平岡南中、平岡小、平岡南小)	全校生が楽しいと思える学校をつくるための取組	●いじめをなくす上で大切なことは、学校に来ることが楽しいと思えることだと考えたため。	●「仲間との交流を大切に いじめをなくそう」 このスローガンのもと、テーマに基づいた取組を活発にしていく。 具体的には、委員会の活動を基盤にして取り組んでいく。 学校全体のテーマを決め、それに対して各委員会が独自の目標を設定し、これまであまり活動できていなかった委員会も活発化させ、学校を明るくしていく。
氷丘中学校区 (氷丘中、氷丘小、氷丘南小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●いじめをなくしていくためには、コミュニケーションが特に重要だと思ったため。 ●児童・生徒同士や、児童・生徒と教師の間でしっかりとコミュニケーションをとることで、大きないじめに発展することを防ぐことができると考えたため。	●「生徒とのあいさつ」 児童・生徒と先生との間のあいさつを強化する。この活動を通して、児童・生徒と先生との絆をさらに深める。 ●「異学年ペア活動」 小学校において、異学年とのペア活動を充実させる。児童同士の交流を活発にし、絆をつくっていききたい。 ●「キラキラさんカード」 友だちの良いところを掲示していくもので、友だち同士で理解と関係が深まると考えている。 ●「心のほっこりエピソード活動」 今年度から取り組んでいる心ほっこりエピソードの活動を充実させていく。
神吉中学校区 (神吉中、東神吉小、西神吉小、川西小、東神吉南小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●理解し合える人間関係づくりに「特に大切にしたい活動」が多く、全ての学校で取り組んでいきたいと思ったため。	●「歌『絆』の利用」 「絆」をお昼の放送等、決まった時間にかけてたり、行事等で歌ったりしていきたい。 ●「いじめだめ！みんなでいっしょに笑いたい！！」 このスローガンを広めるため、学校の掲示板や階段など、みんなが目にするところに貼っていく。 ●「あいさつ運動」 この運動をさらに充実させる。中学生が、自分の出身小学校に出向いてあいさつするなど工夫したい。
山手中学校区 (山手中、八幡小、陵北小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●それぞれの学校の良い部分とできていない部分を考えたときに、このテーマの取組にすれば、もっと良い学校づくりができ、いじめも少なくなっていくと考えたため。	●「あいさつ運動」 中学校区内で行っているあいさつ運動をより充実させていく。そのために、あいさつ当番をボランティア化し、全校生が1回ずつでもできるようにするとともに、あいさつ比べなど、みんなが楽しみながら活性化していくアイデアを考えていく。 ●「全校生が楽しめるような出し物の企画」 全校集会で全校生が楽しめるような出し物を考え、良い人間関係をつくっていく。
陵南中学校区 (陵南中、神野小、野口北小)	一人ひとりを大切にできる学校をつくるための取組	●一人ひとりの意見を大切にし、一人ひとりがもつ意見をしっかりと聞くことで、絶対にいじめを許さない学校につながると考えたため。	●「輝きBOX」 この取組を、中学校区内の学校に広げていく。「輝きBOX」は、中学校の生徒会が行っている活動で、生徒会に対する意見を自由に入れることができる箱で、一人ひとりの意見を聞くことを一番の目的としている。みんなの意見を大切にするという姿を全校生に示すことで、このテーマを深めていきたい。
志方中学校区 (志方中、志方小、志方東小、志方西小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●友だちのいいところポストをつくり、友だちの良いところを見つけて手紙にする活動を行う。文字にすることで、普段言えないことも言いやすくなり、自分も相手も笑顔になれ、仲良くできると考えたため。	●「友だちのいいところポスト」 週1回、全校生に友だちの良いところを書いてもらうように呼びかけ、友だちの良いところポストを利用してもらう。 この活動を通して、学校が今よりも笑顔にあふれ、友だちとの絆を深められると考えている。その結果、困ったら相談できたり、困っている友だちがいいたら声をかけたりすることにつながるのではないかと考えている。
別府中学校区 (別府中、別府小、別府西小)	お互いに理解しあえる人間関係をつくるための取組	●中学校区での取組を整理した際、他のテーマについての取組は多かったのに対して、この取組はあまりなかった。そこで、このテーマに関する意識を深めていこうと思ったため。	●「あいさつ運動」 あいさつから人間関係を深めていく。あいさつ運動をより活性化させるため、各クラスを回ってあいさつをしたり、シールを渡したりすることで、全校生が意欲的に取り組めるよう工夫していく。 ●「褒め言葉のシャワー」 一人ひとりの良いところを発見し、褒め合うことで、良い人間関係を築いていく。例えば、クラス全員が一人に対して良いところを言っていく「褒め言葉のシャワー」のような時間をつくっていく。